

保護者 各位

京都市立大原野小学校
校長 城ヶ崎 浩也

令和5年度 第2回学校アンケート結果

昨年12月に児童・保護者・教職員を対象に2回目の学校アンケートを実施しました。保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。今後の学校教育に生かしていきたいと思ひます。

本校では、学校教育目標を「自ら学び、未来を創造する子の育成～自分らしい生き方を探究する児童～」とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つを柱に全ての教育活動を行っています。この3つの観点から、児童12項目、保護者13項目、教職員15項目のアンケートのうち、いくつかを取り上げて考察しました。

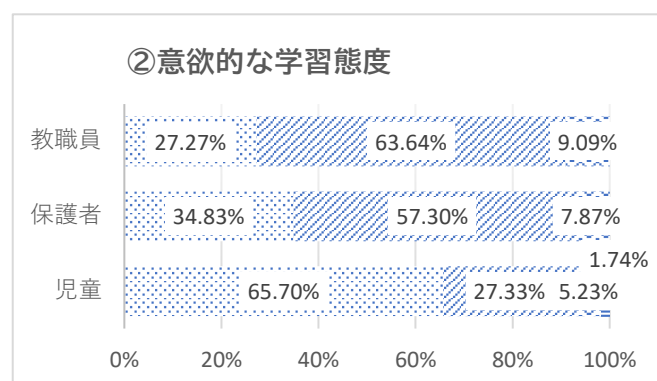
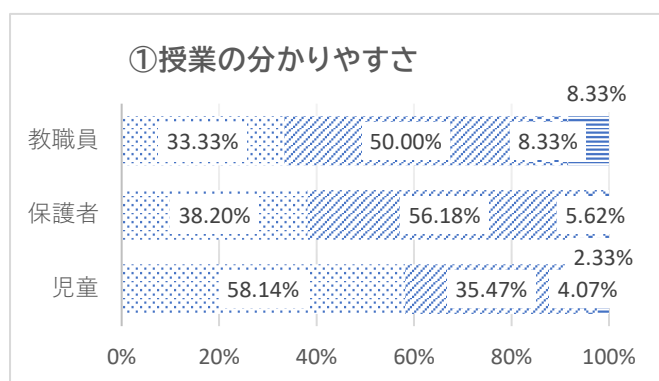
そう思う

 大体そう思う

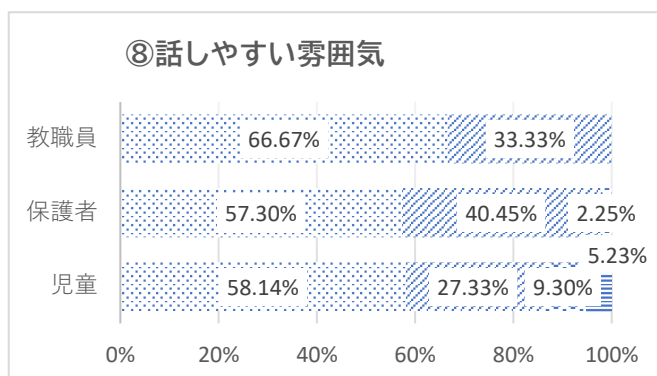
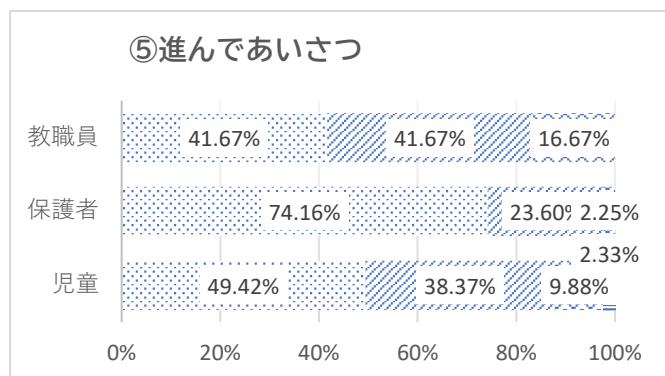
 あまりそう思わない

 そう思わない

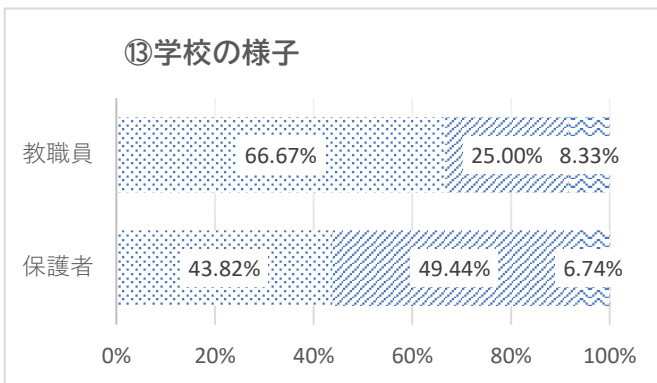
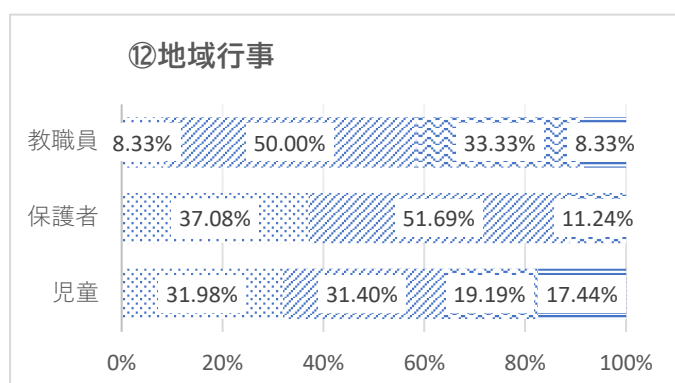
1 確かな学力 学ぶ喜び、探究する楽しさがあふれる学校を目指して



2 豊かな心 1人1人が徹底的に大切にされる学校を目指して



3 健やかな体 児童と教職員、保護者、地域がつながる学校を目指して



結果から

「そう思う」「大体そう思う」…プラス評価

「あまりそう思わない」「そう思わない」…マイナス評価

①の項目「授業の分かりやすさ」については、児童が93%、保護者が95%とプラス評価しています。これは児童が毎時間、授業の「めあて」をしっかり意識して学習に取り組み、振り返りを行った成果だと考えます。また、少人数で指導したり、複数の教員が指導にかかわったりすることを積極的に取り組んできたことや、具体物を使った操作活動を取り入れたり、様々な場面でICT機器を活用したりして、児童が分かりやすい学習展開を工夫してきたことも成果であると考えます。また、一人一台のGIGA端末を積極的に活用したことで、どの子も楽しく分かりやすい授業を展開できたことも成果の一つと考えられます。ペア学習やグループ活動を計画的に授業で取り入れ、友だちの意見と自分の考えの「つながり」を大切にしながら学習を進めてきています。相手の意見をしっかり聞き、自分の考えと比べながら課題を解決することで「聞いてつながる力」をつけることができたと考えます。今後は多くの人の前で相手を意識しながら「話してつながる力」をつけていきたいと考えます。そのためにも朝会など発表する場を設け、児童達が自分の考えを交流し全校児童が「つながり」合えるようにしていきます。

②の項目「学習への意欲」については、第1回と比べて児童のプラスの評価は変わらず高いものの、「そう思う」とする児童が減少し、「大体そう思う」とする児童が増加していることが気にかかります。また、学年が上がるにつれて学習への意欲が低くなっていることも看過できません。学年が上がるにつれて内容が難しくなり、漢字や計算など「積み重ね」ができていないことで学習に対する意欲を持てなくなっていると考えられます。そこで児童が、わからないところからスタートし、学習のねらいに向かって子ども達と練り上げる授業を作り上げていきたいと考えます。そのようにすることで、「わからなくても大丈夫。」という思いを持つとともにみんなで解いていく楽しさ、みんなで分かり合える喜びを感じながら、子ども達が「つながり」を意識していくと考えます。「学力の低下」はそのまま「自己肯定感の低下」につながります。子ども達が学ぶ喜び、探究する楽しさがあふれる学校を目指して「確かな学力」をつけていきたいと思ひます。

⑤の項目「進んであいさつ」については、児童のプラス評価が88%と第1回を下回りました。「そう思う」が減り、「大体そう思う」が増えました。児童会の「ハッピースマイルあいさつキャンペーン」など意識できるような取組を今後も続けていきます。また、教職員がお手本となって気持ちのよいあいさつを実践し、その大切さについても引き続き子ども達に伝え続けていきたいと思ひます。

⑧の項目「話しやすい雰囲気」については、プラスの評価をしている児童が86%と1回目を下回りました。悩み事や困り事があっても、高学年になると恥ずかしかったり、周りの目を気にしたり、家族に心配かけたくないという気持ちが出てきたりして、相談できずにいる児童もいます。学校では、「先生と話そう月間」を設けて、定期的に児童達と面談をする機会を作り、安心して話せる場を設けています。子ども達が安心して話をする事ができるよう、全教職員で見守り一人一人が徹底的に大切にされる学校を目指していきます。

⑫の項目「地域行事」については、児童も保護者もプラス評価が増えてきました。学校行事や学習の中でも地域の皆さんと交流したり、行事が行われたりと子ども達が地域の方と過ごす時間が大幅に増えたことが大きな原因であると考えます。今後も地域の皆さんとの交流や地域行事での交流が進むことを望んでいます。

⑬の項目「学校の様子」については、参観・懇談会もコロナ禍前に戻り、運動会等の学校行事も行われる中で多くの保護者の皆さんに学校の様子を知っていただく機会が増えたと考えています。また個人情報に配慮しながら、ホームページで積極的に学校の様子や子ども達の様子を発信し、保護者の皆さんや地域の方々にお伝えしてきています。ホームページには積極的にアクセスしていただきたいと思ひます。また「スクリレ」を活用し、出欠席の連絡や緊急のお便りなどを発信することなどができています。引き続き児童と教職員、保護者、地域がつながり、信頼していただける学校を目指していきます。

創立150周年という節目の年に当たり、今年度は大原野の新たな歩みを進めるべく「つながる力」を大切に学校教育目標の実現に向けて教職員総がかりで取り組んできました。

学校アンケートの結果から子ども達はおおむね楽しく元気に学校生活を送っていることがわかります。今回の結果をもとに来年度も子ども達がいきいきと活動し成長していけるように取組を進めてまいります。今後とも本校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。